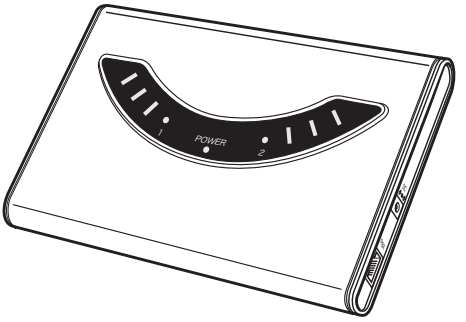
IWATSU

W-SIM対応 PHSアダプタ取扱説明書
WX-WSADP

このたびは、本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
この説明書は、お読みになったあとも本商品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

ご使用の前に、この取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、よくお読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

この取扱説明書に記載されている、本商品の工事は、お買い求めの販売店にて行います。
お客様が工事することは、絶対に行わないでください。

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

- ●本商品は日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in japan only and cannot be used in any other country.
- ●本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- ●本商品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事および修理は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- ●本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- ●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品のモジュラーケーブルを差込口から抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、破損した場合、すぐに本商品のモジュラーケーブルを差込口から抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本商品のモジュラーケーブルを差込口から抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

●本商品をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のモジュラーケーブルを差込口から抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合は、すぐに本商品のモジュラーケーブルを差込口から抜き、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。（分解、改造された本商品は修理に応じられない場合があります。）

●本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●AC100Vの商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●本商品の電源コードや電源アダプタを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電源アダプタコードが破損し火災・感電の原因となります。電源コードおよび電源アダプタコードが傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。テーブルタップなどに接続して使用する場合は、電源アダプタを密着させないでください。火災・故障の原因となります。

●お客さまによる本商品の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。本商品の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

●電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源アダプタのコードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

●本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- 調理台のそばなど、油とびや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●本商品は、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

●本商品をねじったり、重いものをのせたり、強く押し付けたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

●本商品の電源アダプタのコンセントは、近くに設け、容易に電源プラグの挿抜ができるようにしてください。

⚠注意

●本商品をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●本商品を壁掛用に取り付ける場合は、重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因になることがあります。

●電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタを持って抜いてください。電源アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品を熱器具に近づけないでください。本商品や電源コードの被膜が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。

●本商品の上に重い物を乗せないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。

お願い

●本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●停電のときは、本商品は使えません。

●故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
・製氷倉庫などの特に温度が下がる場所。
・塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。

●電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など。）
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画像が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

●トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

●本商品を壁面に設置する場合などは、金属面を避けてください。十分な性能が得られません。やむを得ず設置する場合は、金属面から10cm以上離して設置してください。

●本商品を複数台設置する場合は、50cm以上の間隔をあけて設置してください。

●本商品の使用範囲について
本商品は、ウィルコムのアンテナからの電波が届く範囲でご利用いただけます。本商品は周囲に障害物がなく見通しの良い、できるだけ高い場所に設置してください。通話可能な範囲内でも電波障害や環境条件・設置条件などにより、電波が弱くなり、雑音が入る場所があります。

●本商品は電波を利用しているため、サービスエリア内であっても周囲の環境（壁、家具など）により電波の届かないところがあります。電波の弱いところでは通話ができないことがあります。

●ディジタル方式の特長として、電波状態が悪いところであっても高品質な通話を保つことができますが、電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。

●従来のアナログ方式と比べて高い秘話性を有しておりますが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には第三者が故意に傍受するケースも全くないとは言えません。この点に十分配慮してご使用ください。

●本商品はPHSサービスを利用した製品です。警察（110）、消防（119）にかけるときは…。
□PHSからの通話であることをお伝えください。
・警察（110）、消防（119）での対応がスムーズに行えるよう、PHSからの通話であることをお伝えください。
□通話終了後に通話を切らないでください。
・警察（110）、消防（119）からの呼び出しができなくなります。

●防水機能について
本商品は防水対応ではありませんので以下のような使用はできません。
・ぬらさないでください。
・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
・水道水などの流水には直接当てないでください。
・水滴がついた場合は、なるべく早く乾いた布なので拭き取ってください。
・ぬれたまま、0℃以下になる場所に放置しないでください。

●その他の注意事項
・本商品とビジネスホン主装置間に他の機器を接続しないでください。
・本商品を収容した回線にパス配線により他のISDN機器の接続は行わないでください。

もくじ

安全にお使いいただくために必ずお読みください ……2
セットの確認 ……7
ご用意いただくもの ……7
本商品の特長 ……8
各部の名称とはたらき ……9
W-SIMの装着 ……11
W-SIMをはずす ……12
ビジネスホンと接続する ……13
電源を入れる ……15
ランプ表示について ……16
設置方法 ……17
困ったときは ……21
仕様 ……22
アフターサービスについて ……23

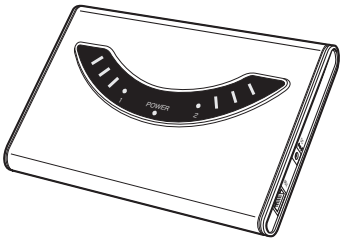
セットの確認

●同梱品

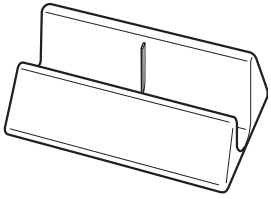
ご使用になる前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。

※セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合には、当社のサービス取扱所またはお買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

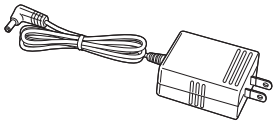
■PHSアダプタ本体



■PHSアダプタ用スタンド

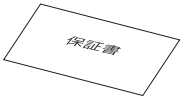


■PHSアダプタ用
電源アダプタ(KSW0523)



■壁掛用止めねじ(2セット)

■保証書

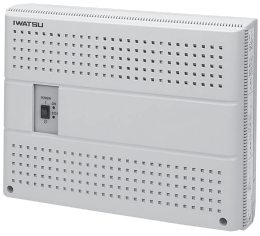


■取扱説明書(本書)

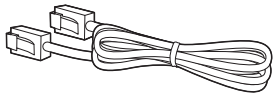
●ご用意いただくもの

本商品をご使用するにあたって下記が必要になります。

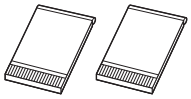
■ビジネスホン主装置　注1



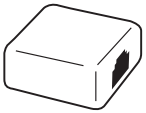
■ISDN用モジュラーケーブル



■W-SIM（最大2枚）　注2



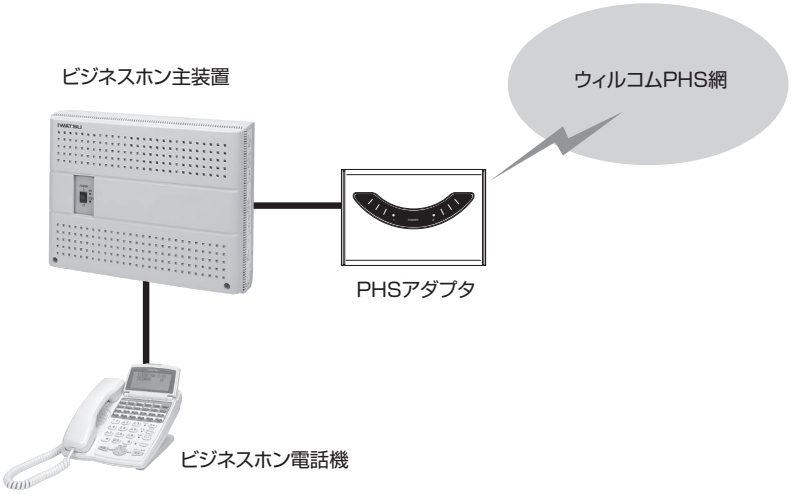
■ローゼット(MJ-88S)



注1)本商品の接続可能なビジネスホンについては、販売店もしくは工事店にお問い合わせください。
注2）W-SIMの申込みに関しては、本商品のご購入販売店にお問い合わせください。

本商品の特長

本商品は、ビジネスホンとISDN回線インタフェースにて接続され、ビジネスホンからウィルコムPHS網への発信、またはウィルコムPHS網からビジネスホンへの着信ができます。

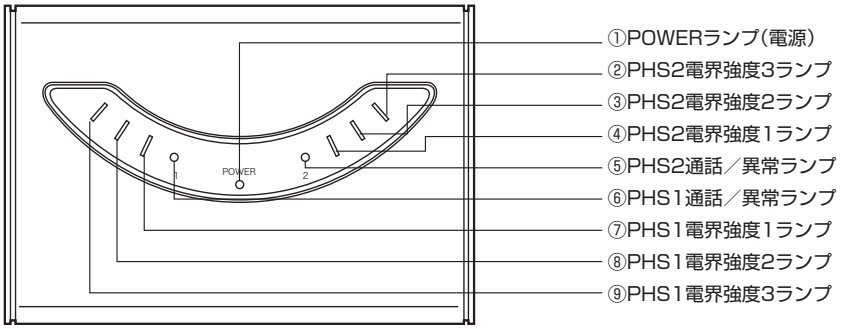


①本商品には、W-SIM(ウィルコムシム)を最大2枚収容することができ、同時に最大2通話を行うことができます。
②本商品は、ウィルコムのPHS通信サービスを利用した音声通話が可能です。
③本商品にW-SIMが2枚収容されていた時、ビジネスホンから発信した場合、発信で使用されるW-SIMは特定されません。また、ビジネスホンへの着信については、電話番号に対応したW-SIMへの着信となります。
④ビジネスホンから、本商品経由で発信した場合、着信先相手に対しては、発信したW-SIMの自電話番号が発信者番号として通知されます。
⑤ビジネスホンから“184”を付けて発信すると、発信者番号非通知で着信先相手に通知されます。
⑥フレックスホン機能、PIAFS通信、モデム通信、およびFAX送受信はサポート対象としていません。
⑦ビジネスホンへのサブアドレス着信は、サポートされていません。ただし、ビジネスホンのサブアドレス発信操作により、発信先にサブアドレスを通知することは可能です。
⑧ビジネスホンから本商品経由にて発信した場合のビジネスホンの通話料金表示は、通常のISDN回線に発信した通話料金表示と同じです。また、LCR発信機能についても通常のISDN回線と同様な機能となります。
⑨再ダイヤル発信などにより、発信を終了して、すぐに発信した場合、PHS網への発信が遅れる、または、発信できないことがあります。

ご注意
・電波条件によっては、通話にエコー感を感じる場合があります。
・本商品にW-SIMが1枚しか収容されていない場合、ビジネスホンからの発信は、1回線しか行えません。局線キーが2つ割り付けられている場合には、1つの局線キーに対して発信規制等のデータ設定を行ってください。

各部の名前とはたらき

●前面図

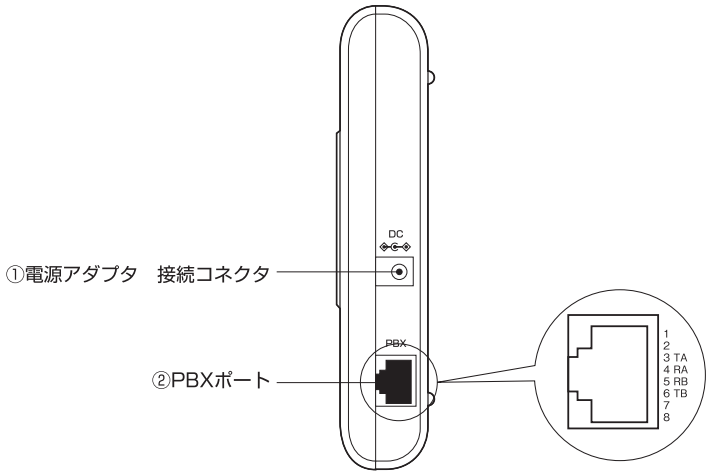


【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
①POWERランプ(電源)	緑(点灯)	電源が入っているとき
②PHS2電界強度3ランプ	緑(電界強度1、2、3点灯)	PHS2の電波感度が高のとき
③PHS2電界強度2ランプ	緑(電界強度1、2点灯)	PHS2の電波感度が中のとき
④PHS2電界強度1ランプ	緑(電界強度1点灯)	PHS2の電波感度が低のとき
	電界強度1、2、3消灯	PHS2の電波感度が圏外のとき
	緑(電界強度1、2、3点滅)	異常がみられるとき
⑤PHS2通話／異常ランプ	緑(点灯)	PHS2が使用中(通話中)のとき
	赤(点灯)	PHS2カードが未挿入のとき
	赤(点滅)	異常がみられるとき*1
⑥PHS1通話／異常ランプ	緑(点灯)	PHS1が使用中(通話中)のとき
	赤(点灯)	PHS1カードが未挿入のとき
	赤(点滅)	異常がみられるとき*1
⑦PHS1電界強度1ランプ	緑(電界強度1、2、3点灯)	PHS1の電波感度が高のとき
⑧PHS1電界強度2ランプ	緑(電界強度1、2点灯)	PHS1の電波感度が中のとき
⑨PHS1電界強度3ランプ	緑(電界強度1点灯)	PHS1の電波感度が低のとき
	電界強度1、2、3消灯	PHS1の電波感度が圏外のとき
	緑(電界強度1、2、3点滅)	異常がみられるとき

*1本ランプに合わせて電界強度ランプが点灯の場合、PHSの異常
電界強度ランプが消灯の場合、ISDNの異常
電界強度ランプが点滅の場合、その他の異常となります。

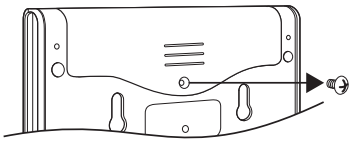
●右面図



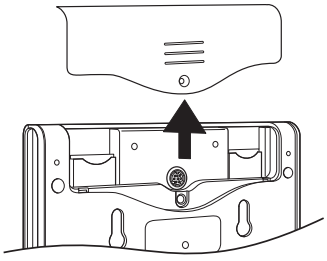
名　　称	説　　明
①電源アダプタ　接続コネクタ	PHSアダプタ用電源アダプタを接続します。
②PBXポート	ビジネスホンのISDN外線を接続するS/T点に接続します。

W-SIMの装着

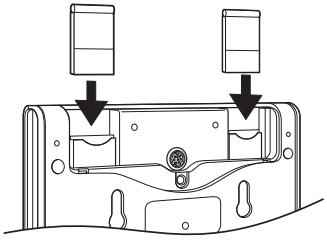
●W-SIMを装着するには、必ず電源アダプタを抜いた状態で、以下の手順に従って装着してください。
●静電気には十分注意してください。
●挿入には必要以上の力をかけないようにしてください。
●W-SIMの取扱いや注意は、W-SIMマニュアルをご確認ください。



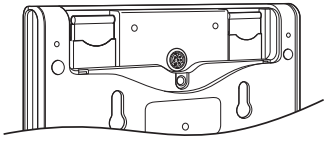
背面のねじをはずします。



フタを上方にスライドさせはずします。



W-SIMの端子側を本体の正面側に向けて、
溝に合わせて挿入します。

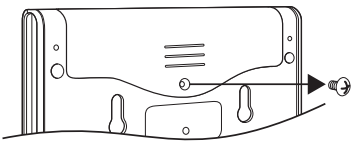


「カチッ」と音がするところまで、
W-SIMを押し込みます。

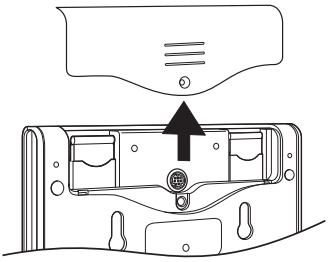
フタを上方からスライドさせて、本体にしっかりと装着します。
本体とフタとの間に隙間がないことを確認し、
背面のねじをしっかり留めてください。

W-SIMをはずす

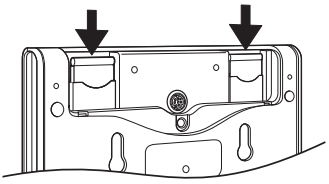
●W-SIMをはずすには、必ず電源アダプタを抜いた状態で、以下の手順に従ってはずしてください。
●静電気には十分注意してください。
●とりはずしには必要以上の力をかけないでください。



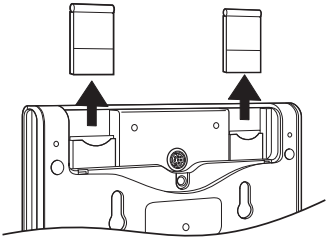
背面のねじをはずします。



フタを上方にスライドさせはずします。



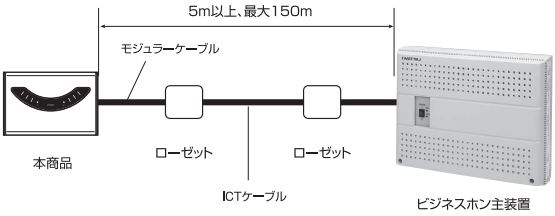
挿入されているW-SIMを、
「カチッ」と音がするまで押し、はなします。



W-SIMが押した反動で抜けます。

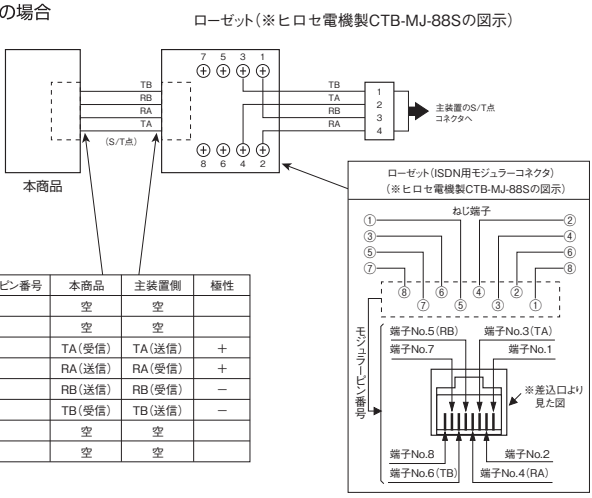
ビジネスホンと接続する

接続をはじめる前に、電源アダプタを外してから作業してください。
電源を入れたまま接続すると、機器の破損もしくは、故障の原因となります。
モジュラーケーブル、ローゼットおよびその他のICTケーブルなど、配線、接続に必要となる物品につきましては別途手配していただくようお願いします。



配線は0.4mm～0.65mm2対ICTケーブルを使用してください。

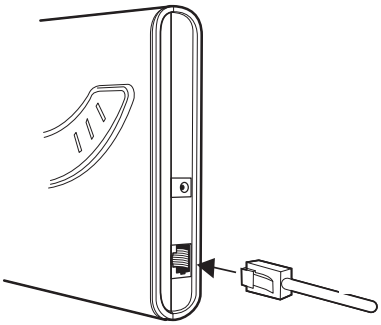
例）テレモアEXに接続の場合



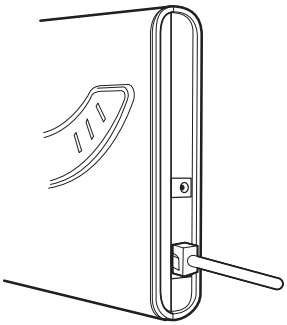
モジュラーピン番号	本商品	主装置側	極性
1	空	空	
2	空	空	
3	TA（受信）	TA（送信）	＋
4	RA（送信）	RA（受信）	＋
5	RB（送信）	RB（受信）	－
6	TB（受信）	TB（送信）	－
7	空	空	
8	空	空	

●対応するビジネスホン側のISDN回線インタフェースの終端抵抗はONに設定してください。この場合ローゼットは終端抵抗のないものを使用してください。
●ローゼット内の接続、端子番号はローゼットにより異なります。使用するローゼットの接続図、端子番号を確認の上、接続工事を行ってください。
●ビジネスホンに本商品の他に、ISDN回線が接続される場合はISDN回線から、本商品だけの場合は、本商品が接続された回線から同期抽出を行うよう設定してください。設定は、各ビジネスホンに添付されている工事説明書およびデータ設定シートをご覧ください。
●本商品を接続可能なビジネスホンは、弊社指定の以下の機器となります。
・テレモアEX、PRECOT、TELMAGE
●本商品を収容する場合、ビジネスホン側のISDN回線インタフェースは、S/T点に設定してください。
●テレモアEXに接続し、一般単独電話機から本商品経由で通話を行う場合、以下の主装置データの変更を行ってください。
・ISDN回線PAD制御（項目0811）：1（初期値）→0
●本商品をビジネスホンへ収容する際には、予め設置場所のPHS電波状況をご確認ください。
本商品のビジネスホンへの推奨接続台数は1台（W-SIMは2枚搭載）です。
本商品を複数台設置すると、周辺地域のトラフィックに影響を及ぼす（または受ける）恐れがあるため、株式会社ウィルコムとの専用基地局の賃貸借契約を推奨いたします。

ビジネスホンと接続する

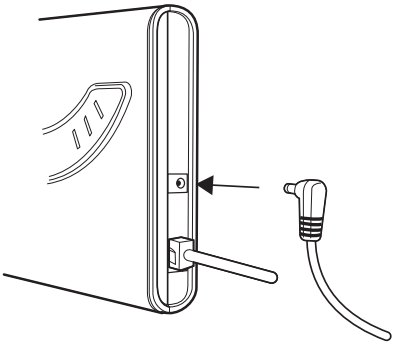


ビジネスホンに接続されたモジュラーケーブルを
図のように差し込みます。

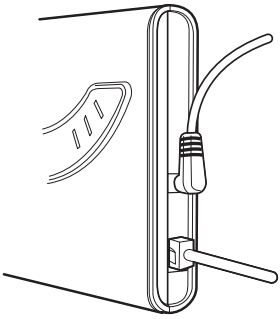


「カチッ」と音がするまで差し込みます。

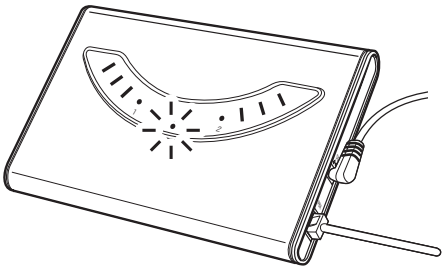
電源を入れる



電源アダプタのプラグを図のように
差し込みます。



図のように奥まで差し込みます。

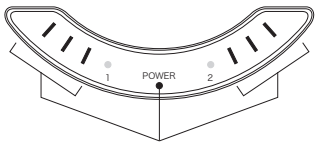


電源アダプタのプラグが正しく接続されると、
図のようにPOWERランプ(電源)が
点灯します。

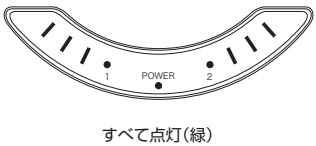
ランプ表示について

ランプ表示は、現在の状態、異常通知などを表示します。

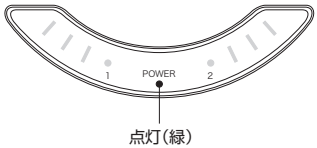
PHS1、2 の電界強度が最大



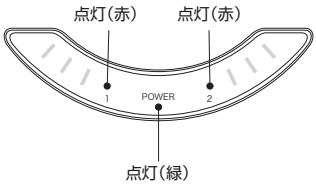
PHS1、2 が通話中



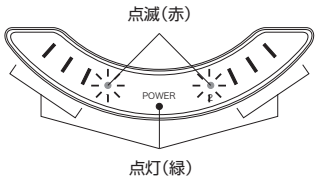
PHS1、2 が圏外



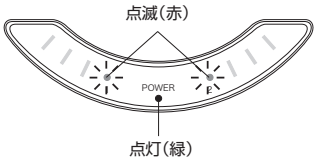
PHS1、2 の SIM カード未挿入



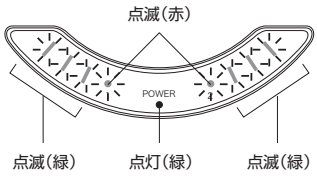
PHS1、2 が異常



ISDN が異常



その他の異常

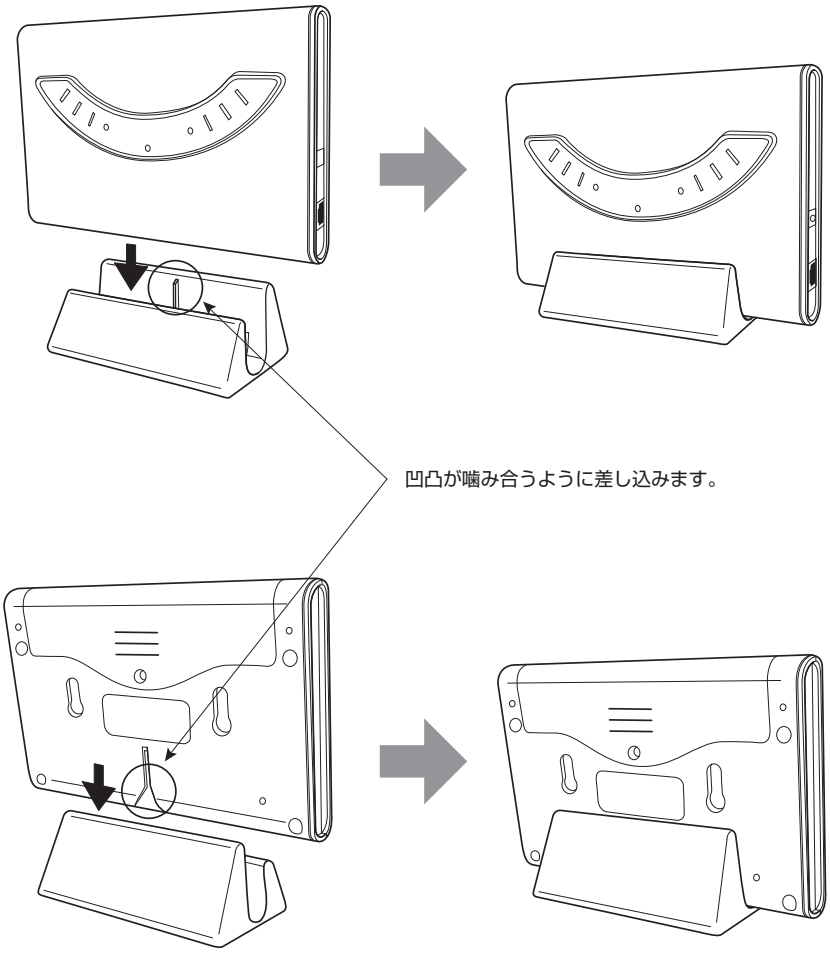


設置方法

設置は据置きと壁掛けの2種類があり、以下にこれらの設置について記述します。
PHS電界強度2または3のランプ表示が安定して点灯する場所に設置してください。

●据置き

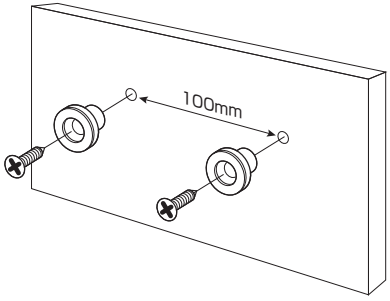
据置きの場合は、下図のように付属のスタンドに本体を差し込みます。



設置方法

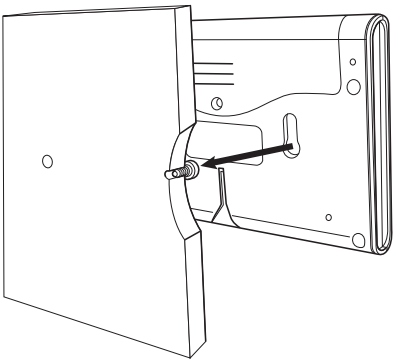
●壁掛け

壁掛けの場合は、下図のように取り付けます。縦向きの設置はできません。

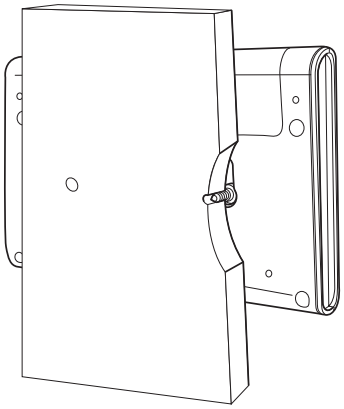


付属の壁掛け用のねじを、図のように取り付けてください。
ねじの間隔は100mmで取り付けてください。

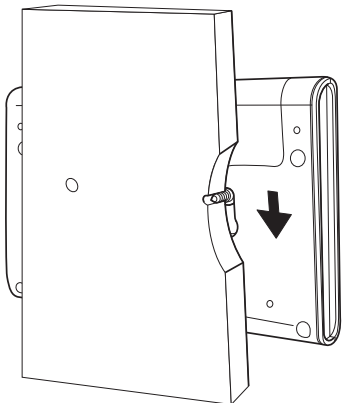
ねじ：十字穴付きさら木ねじ　3.5×20
（JIS B1112）



本商品本体裏側にある壁掛け用の穴の下部
（穴の大きくなっている部分）に、
取り付けたねじが入るようにします。



取り付けた壁掛け用のねじを、図のように
本商品本体の裏側にある壁掛け用の穴に
差し込んでください。

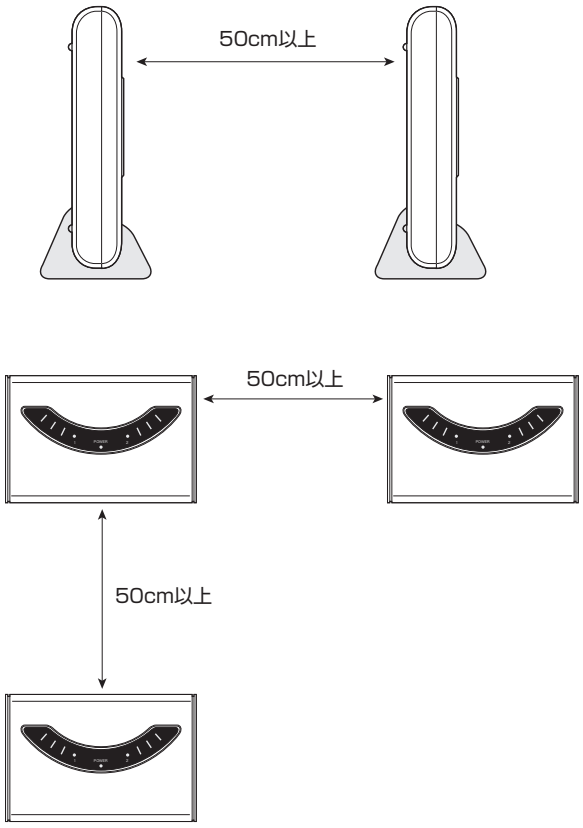


その後、図のように本商品本体を
下にスライドさせてください。

設置方法

●設置時の注意

本商品を複数台設置する場合は、50cm以上の間隔をあけ、設置してください。
本商品を複数台設置すると、周辺地域のトラフィックに影響を及ぼす（または受ける）恐れがあるため、予め設置場所のPHS電波状況をご確認ください。



・本商品を壁面に設置する場合などは、金属面を避けてください。十分な性能が得られません。
やむを得ず設置する場合は、金属面から10cm以上離してください。
・各種機器との距離
①ビジネスホン主装置 ……5m以上
②多機能電話機 ……1m以上
③他のPHSアダプタ ……50cm以上
④デジタルコードレス接続装置 ……10m以上

困ったときは

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんな時は	ここを確認してください	操　作	参照ページ
○POWERランプが点灯しない ○動作しない	電源アダプタが抜けていませんか	電源アダプタを正しく接続してください	15
	停電ではありませんか	故障ではありません 停電時には本商品を使用することはできません。	–
○PHS電界強度ランプ1が点灯しない	公衆基地局から離れすぎていませんか	○PHS電界強度2または3ランプが安定して点灯する場所に設置してください 。 ○ホームアンテナ*をご使用ください。	–
○電話がかけられない ○電話を受けられない	ビジネスホンとの接続は正常ですか	配線を正しく接続してください	14
	W-SIMが正しく挿入されていますか	W-SIMを正しく挿入してください	11
	POWERランプは点灯していますか	電源アダプタを正しく接続してください	15
○通話に雑音が入ったり、通話がとぎれる ○通話がきれる	公衆基地局から離れすぎていませんか	○PHS電界強度2または3ランプが安定して点灯する場所に設置してください ○ホームアンテナ*をご使用ください	–
	近くに雑音を発生する家電製品やOA機器がありませんか	それらの機器からできるだけ離れた場所に設置してください	_
	公衆基地局との間に障害物がありませんか	できるだけ障害物がない場所に設置してください	_
	他の無線機が近くにありませんか	できるだけ無線機から離して設置してください	_
	PHSアダプタ間の距離は適切ですか	PHSアダプタ間は、50cm以上離して設置してください	20
	金属面のそばに設置していませんか	金属面から10cm以上離して設置してください	_
	同期抽出はPHSアダプタが接続されているISDN回線ではありませんか	同時にISDN回線と本商品が接続される場合は、ISDN回線を同期抽出回線に設定してください	–
	ISDN回線終端抵抗は適切ですか	ローゼットまたはユニットのどちらか一方で終端抵抗を接続してください	_
	ビジネスホンとの配線長は適切ですか	モジュラーケーブルを含めて150m以内で配線してください	_
○ビジネスホンのISDN回線同期が確立しない	ISDN回線終端抵抗は適切ですか	ローゼットまたはユニットのどちらか一方で終端抵抗を接続してください	_
	ビジネスホンとの配線長は適切ですか	モジュラーケーブルを含めて150m以内で配線してください	_
	ビジネスホンとの接続は正常ですか	配線を正しく接続してください	14
	ビジネスホンのISDN外線の設定は正常ですか	ビジネスホンのISDN外線の設定は、S/T点に設定してください	_
○通話にエコー感がある	通話相手（回線）により変化しませんか	故障ではありません 電話機の受話音量を下げると改善されることがあります	_
○通話中にピーピーという警告音が聞こえる	圏外警報です 公衆基地局から離れすぎていませんか	○PHS電界強度2または3ランプが安定して点灯する場所に設置してください ○ホームアンテナ*をご使用ください	–

＊：ホームアンテナは株式会社ウィルコムからのレンタル品となります。別途手配が必要になります。

仕様

電源		AC100V ± 10V　50/60Hz
外線収容数		PHS：最大 2 チャネル（W-SIM による）
本体	寸法	（幅）約 203mm ×（奥行き）約 28mm ×（高さ）約 135mm
	質量	約 290g
消費電力		約 6VA（60mA）
環境条件		周囲温度：0℃～ 40℃　相対湿度：90%以下（ただし結露しないこと）
無線インタフェース		W-SIM による
ISDN インタフェース		RJ45 × 1 INS ネット 64 回線（NT モード）準拠

アフターサービスについて

●この商品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、以下の記載内容について特にご確認ください。

●お買い求めの日が記載されていること
●お客様のご住所とお名前が記載されていること
●販売店の住所と名前が記載されていること

●保証期間はお買い求めの日から1年間です。

なお、保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

●修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。
販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センタへご相談ください。

＜お客様相談センタ：0120-186102＞

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。 部品代：修理に使用した部品代金です。 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

・補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）は、製造打切り後、7年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受けいたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

・電子情報の消去について

お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。貴重な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様ご相談センタへお気軽にご相談ください。
＜お客様相談センタ：☎0120-186102 ＞

創造と豊かな対話のために
IWATSU 岩崎通信機株式会社
〒168-8501　東京都杉並区久我山1-7-41

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。 修理を依頼される時やお問い合わせのときに大変便利です。	
設置年月日	年　　月　　日
設置店名 住所 電話番号	

TML171731